

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

公文書館（内線：8164）

1 4 目 公文書館費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
親しまれる公文書館 推進事業	2,078	4,617	△2,539				2,078	
トータルコスト	13,373千円(前年度 19,530千円) [正職員：1.4人 非常勤職員：0.3人]							
主な業務内容	企画展示や常設展示、講演会、研究会を利用した公文書館の普及・利用促進							
工程表の政策目標(指標)	(1) 公文書館利用者のより一層の掘り起こしと拡大を図る。 (2) 充実した展示や講演会、研究会、講座を実施して普及啓発を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>公文書等の持つ情報に触れる機会を多くすることで、館の役割や資料保存に対する県民の理解を深め、公文書館の利用拡大を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 中国・四国アーカイブズネットワーク連携事業（404千円） 企画展などを公文書館法施行日「6月1日」を中心に実施 ア 企画展「アーカイブズと現代社会」 公文書館の機能と業務、所蔵する貴重公文書や写真等を公開する。（6月～7月頃） イ 企画展記念講演会の実施（講師：県外有識者、企画展期間中に実施予定） ウ 「公文書館探検隊」の募集 館内見学、企画展の解説や館の機能説明、書庫の案内などの実施</p> <p>(2) アーカイブズフェア（738千円） ア 開館20周年記念特別展「写真がとらえた昭和の鳥取県」 県政広報写真を利用して戦後から昭和50年代までの鳥取県を振り返る（11月～12月頃） イ 公文書等資料保存研究会 市町村職員等を対象に、公文書等の保存に関する講座の実施</p> <p>(3) 常設展の充実（200千円） ア 研究の成果、話題性のある資料を利用して、常設展「鳥取県のあゆみ」を部分的に入れ替える。 イ 小企画展「鳥取大火の記録」 新出写真で防災に関する啓発を行う。（4月頃） ウ 小企画展「絵葉書で綴る鳥取」 新出絵葉書を元に、在りし日の鳥取を振り返る。（時期未定）</p> <p>(4) 「こちら<夏休み自由研究>協力隊」（標準事務費の枠内対応） 小中学生を対象に自由研究の指導等を行う体験教室の実施（7月～8月頃）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>これまでに実施した巡回講座や研究成果等を取りまとめ、資料集『澤田廉三と美喜の時代』、『研究紀要』等を刊行し、事業の周知に努めてきた。</p> <p>また、毎年開催する企画展についても内容に趣向を凝らした成果によって、マスコミ（テレビ、新聞）に取り上げられるなど、公文書館の認知度も広がりつつある。</p>								